

市町村合併

～当別町の将来を考える～

6

10月10日に当別町長・月形町長・新篠津村長が会談し、当別町と新篠津村の2町村で法定合併協議会の設置について検討する方針を決めました。

月形町は空知中央任意合併協議会にも参加しており、同協議会の協議の遅れなどが要因で、法定合併協議会参加の判断は11月末としています。

I 法定合併協議会設置を検討

9月30日、最後(第3回)の任意合併協議会の会議を終えましたので、10月10日に当別町、月形町、新篠津村の3町村長が今後の協議の方向(任意協議会から法定協議会への移行)について会談しました。その結果、当別町と新篠津村で法定合併協議会の設置について検討する方針を決めました。

月形町は、空知中央任意合併協議会にも参加しており、同協議会の協議の遅れなどから、現時点では結論を出せず、法定協議会への参加の判断は11月末としています。

なお、その後には月形町が当別町と新篠津村とによる法定協議会への参加の意向となれば、再度協議することとしています。

II 27項目の合併協議を終了

第3回任意合併協議会では、第2回の14項目に引き続き13項目を協議し、その主なものは、次のとおりです。

◆乳幼児医療費助成事業(当別町の制度に統合する)。

住民懇談会を開催



9月24日から26日まで町内3会場において、市町村合併に関する住民懇談会を開催し町民211名の方々の参加をいただきました。

いただきました。

懇談会では、町が市町村合併に取り組んできたこれまでの経緯経過をはじめ、月形町と新篠津村との任意合併協議会会議で協議された14項目の決定事項について説明を行いました。また、参加者から「当別のまちづくりにおいて、将来に悔いを残さないようにするためには、私たち住民も合併問題について真剣に勉強し、判断していかなければならない」などの意見が出されていました。

合併に関するご質問、ご意見は企画部企画課(☎3-3042)までお寄せください。

- ◆子育て支援事業(現行の施設において実施する)。
- ◆長寿祝金支給制度・一般健康診査・各種がん検診(再編する)。
- ◆通学区域の設定・変更(現行どおりとし、受委託エリアは見直す)。
- ◆学校給食の実施(現施設を新町へ移行し、給食費は当別町の料金に統合する)。
- ◆商工会助成事業(当別町の規則に準じて実施する)。
- ◆農業振興地域整備計画(合併後1年以内に新町の計画を策定する)。
- ◆新規就農支援事務(月形町の制度

- を新町に移行し、担い手センターは再編する)。
- ◆農業振興団体補助(現制度は新町へ移行し、団体等の育成や補助は団体等の再編とあわせて新町にて検討する)。
- ◆畜産振興対策補助事業(当別町の制度に統合する。3町村の家畜防疫組合への補助は存続し、2町の乳牛検定組合は新町へ移行し、補助を継続する)。
- ◆国営・道営土地改良事業(各改良事業の町村負担分は新町に移行する)。

町長の日記

15年10月20日(月)

こんにちは！！こんにちは！！と大きな声で挨拶をしながら中学生達が役場に入ってきた。

今日は昨年につづき中学生22名が議員になって子供議会が開かれた。

全て本番と同じ町長、助役、教育長や各部長、課長、それに議会事務局長も席について傍聴席には本物の議員さんが沢山来られて各学校の先生と母親らしい人もおられて議場はちょっとした緊張感があった。

9人の議員から合併、道路、公園、ゴミ等の件について一般質問が行われた。

質問は本人が考えたものらしく率直なので、私は行政用語をさけて、わかりやすく答えなければならず、将棋でいえば飛車、角抜きで対戦するようで骨がおれた。

特に「合併には、どんなメリットとデメリットがあるのか」と尋ねられた時はどう言う答弁にしようか迷った末に私は「デメリット(不利益)な合併は考えていない」と自分の考えを述べた。

それについて再質問はなかったが理解してもらえたかどうか？

又「ゴミの有料化はどう考えるか」と尋ねられたので「当別町は毎年2億円のゴミの処理費用がかかっているが皆さんの協力でゴミが減れば良いが増えつづけければ家庭のゴミも有料化しなければならなくなる」と答えた。

いずれの答弁も子供に理解されて大人には誤解されないようにと思ったのだが――

若い時、青年団で体験した模擬議会を思い出す事がある。

果して今日の議会を彼等はいつの日か思い出してくれるだろうか？傍聴席の親は子供の姿に感動しただろうか？

それにしても役場に「こんにちは！！」と大声で入って来てくれた今日の子供達を私は忘れられない。又、逢いたいと思う。

当別町長泉亭俊考

お答えします「町長への手紙」



9月号の広報誌に折り込みをし、寄せられた「町長への手紙」の中から、紙面上で紹介しお答えします。

質問

道路や歩道にインターロッキングを使うとブロック一つ一つがガタガタで自転車やチャイルドカーが使いづらく、下水のマンホール部分では段差があり、つまづいてしまいます。結局車道(アスファルト)を歩くことになります。新しく作っているフレッティ前もインターロッキングにしています。アスファルト舗装にして欲しいのですが。

お答えします

フレッティ前の道路には、既存道路にインターロッキングを使用していますので、増設部分をアスファルト舗装とすることは中心市街地の景観や道路構造の連続性から好ましくありません。これを全面アスファルトに変えるには、既存のインターロッキングを撤去する必要がありますので、費用は数倍高くなることはいうまでもありません。

質問

治水橋の道路の両端が水はけが悪く歩いて渡る際に必ず水をかけられるのですが、何とかありませんか。

お答えします

当別町は泥炭地域で軟弱地盤が大部分を占めています。そのため舗装道路を整備した後に、車の通行により徐々に通行部分だけ沈下していき、水溜りのできやすい状況になっているのが現状です。道路の状況を勘案しながら改修していますが、今後も住民生活上の優先度を見極めて、計画的に改修して参ります。

質問

札幌近郊なのに学園都市線だけ、快速電車がなぜないのでしょうか。

お答えします

町では当別町の住民の方が学園都市線をより利用しやすくするためにJR北海道に対し、当別 札幌間をスピードアップするなど時間短縮の要望をしていますが、この区間は遠距離とも言えず、また、札幌駅に近いほど利用者が多くなるという特性から快速列車の運行には不向きと考えられています。

しかし、鉄路は当別町の住民生活を支える重要な交通手段でありますので、今後も管轄官庁を含めて、ねばり強い要望を行っていきたいと考えています。